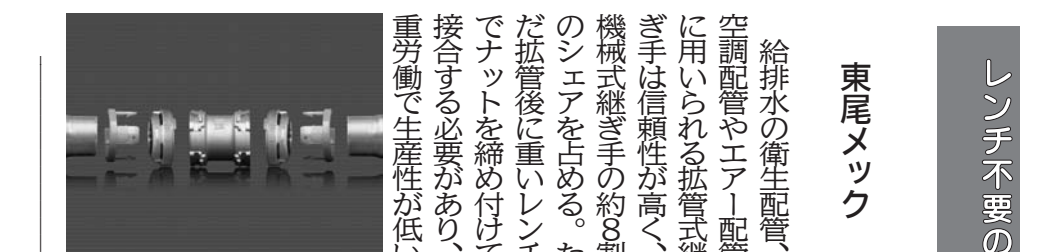


優良賞



易施工継手「KKベスト」

ことが課題だった。「これを解消した。拡張機は、レンチを用いるにナットを取り外せようにした。また接合工程は、継ぎ手本体拡張部が一体になったナットを45度回転させた後、樹脂製のF1バックリングを差し込ただけで接合が完了する。通常、中空配管拡張機を担いで作業するが、遠隔式電動拡張機を用意し、安全・容易に作業可能にした接合時間を大幅に縮。品質を均一化し脱管などのトラブル防止できる。

(大阪府河内長野市

緩
せて
るよ
分を
た柔
した
硬質
2層
じる
れて

プラナス
 ケミカル
 んだネジを発光さ
 目視で点検でき
 照光顔料を含有し
 につする。ネジ部
 軟な塗料で下塗り
 後、紫外線を遮る
 塗料を上塗りして
 にする。緩みが生
 硬質塗料が割
 蛍光塗料が露出

将 励 堂

注文品搬送装置

「Auto Wait」

コンベヤーを直角に曲げられるため、店舗のスペースに合わせて柔軟に設計できる。厨房から客席に向かうベルト式の供給コンベヤーとメインコンベヤー、ローラー式の客席ユニットで構成。回転すし店の場合、店員

はすしを客席に置き、客のテーブルに送り込ませる。コンベヤーの移動し手が動かし、手間がなすしをとる。確認し作業性がアップ。コンベヤーは80センチ幅に曲がって引き速るため慣性力で送り、汁物、滑る。



船コン
席番を
しがメ
に移り
ノル上
席ユニ
る。
しを
なり、
だかど
いたす
上する
各席ユ
心手前
遠心
しが飛
こぼれ
かに進
(金沢)

ベヤ
選択
に注
イン
店員
置く
客が
つか
め、
分速
直角
ニッ
で減
力や
んだ
たり
入す
市)

用したのの開発の「の」座除菌剤の「の」に、ノロウイルスに対する効果は、薬材質と「だわ」に侵して、生体のよう、シリウは99・間作用、東住吉

近年、脳や脊髄を手術する際、電気信号を脳に与えて術中モニタリングする運動誘発電気刺激(MEP)の導入が進んでいる。ただ手術中に無意識にあごが動き、歯が折れたり、舌や唇などをかんで切ったりする損傷が発生している。そこで、手術に向けて、学と共同開発を保護する「気管、食道、舌、歯、顎関節」の形状をロックで固定する装置を開発した。この装置は、手術中に患者の顎関節を固定し、歯の咬合力を軽減する。また、舌や唇の動きを抑制し、手術中の損傷を防止する。この装置は、手術中に患者の顎関節を固定し、歯の咬合力を軽減する。また、舌や唇の動きを抑制し、手術中の損傷を防止する。

つした
浜松医
院した
列内
ユーブ
予防す
成。歯
幅が広
型形状
舌を
足して
間から
い。素
ある熱
ミーを
の装着
担が
いでも
痛めな
松市西

[illegible]

引き上
る仕組
は台座
の、再
医師や
皮膚を
を抜く
こしま
なつこ
解消し
来症を
ーズ調
奈良県
力を三
医療機
シー
阪市北
The
600
貴税抜
府八尾

「トリプル・ダブル
リユー・ジャパン」
排尿のタイミングを
予測するウェアラブル
端末。「そろそろ」
「出たかも」の2種の
通知をスマートフォン
やタブレット端末に送
信する。超音波センサ
ーを膀胱部分（恥骨の
2センチ以上）に装着し、
尿の量（膀胱の大きさ）

の変化」の
集して独自
ズムで分析
はグラフ
る。既存
で、病院
に限定
情。普及
料を一台
円以下に
で常時装
め、高齢
不安、脊
排せつ障
らげ、自
援できる。
どの介助
ケアの負
ながる。約
に導入実



（東工）

（東工）

「フータ
のアル
確認
品は
この
の尿
の傷
悩
掛
護
減
150
ある
都

[illegible]

腔開口

ヒューバー針抜針器

テクノグロ―バル

がん患者らへの薬剤投与時に用いるヒューバー針を、片手操作で安全に抜き取れる。台座と針を持ち上げる可動部（ハンドル）で構成。皮下埋め込み型中心静脈ポート（CVポート）から薬液を注入後、台座開口部を針の根元に設置し、親指で台座上部を抑えながら

ハンドルを引き上げると針が抜ける仕組み。使用後の針は台座に収納されるため、再利用できない。医師や看護士が患者の皮膚を手指に刺してしまつた場合が課題となつてた。これを解消し、事故による感染症を防止できる。ニール調査

製品検証で奈良県立医科大学の協力を受けた。販売は医療機器卸社

のシーマン（大阪府北區）が担当する。価格は6000円（消費税抜き）

（消費税込）

（大阪府八尾市）

トリプル・ダブル
リニュー・ジャパン

排便のタイミングを予測するウェアラブル端末。「そろそろ」「出たかも」の2種類の通知をスマートフォンやタブレット端末に送信する。超音波センサーを膀胱部分（恥骨の2センチ上）に装着し、尿の量（膀胱の大きさ

の変化）のデータを集めて独自のアルゴリズムで分析する。記

はグラフで確認できる。既存製品は高齢で、病院などでの利用に限られているが、情報、普及に向けての材料を1台当たり月1円以下に抑えた。小

で常時装着可能なため、高齢者らの尿漏れ、不安、脊椎損傷によらず、自立排せつを

援でできる。介護施設などの介護者による排せつの負担軽減にもなる。約150施設に導入実績がある。

（東京都渋谷区

優良賞

獎
勵
賞

5